

信州大学・長野大学・立科町による地域



共同研究契約を調印し、調印書を交わす3者。

# 「エコたまごゆで器」販売

長和町古町、プラスチック成形の尾美樹脂工業(有) 尾美秀實社長は「エコたまごゆで器」をこのほど開発、販売を始めた。

縦横17cm、高さ8cm。5.5cmの穴があいているプラスチック製容器。炊飯器から吹き出す蒸気の熱を利用して卵をゆでる。卵8個を12分ほどでゆで上げる。卵のほかにブロッコリー、アスパラ、

## 長和の尾美樹脂工業

### 炊飯器からの蒸気を利用

温野菜も



「エコたまごゆで器」と尾美社長

尾美社長は「蒸気を利用してできないかと考え、この器を思いついた。ごはんが炊けると同時に、ゆでたまごや温野菜などのおかずができるので省エネにも役立つ」と話している。

キャベツなどの野菜もこの容器で蒸気に乗せると温野菜ができる。

尾美社長は2年前に県発明協会上田支部で発表している。その後、試作を重ね、今月3日に長和町の道の駅で開いた「軽トラ市」で初めて販売したところ大好評だった。

える「地域ブランドグランドデザイン研究会」発足の3点で行う。人材育成とブランド構築のノウハウを町に根付かせること、一過性でない地域ブランドづくりと活用に

は来年3月まで。町では共同研究のため200万円を予算化。調印式では小宮山和幸町長、三田育雄・長野大学地域連携センター長、三浦義正・信州大学副学長、村山研一・信州大学産学官連携推進本部地域ブランド分野長らが出席し、調印書を交わした。「グローバル経済が

輝かせたい。信州産学官連携機構として自治体を交えた共同研究として新しい試みで、ぜひ成功させたい」と語った。「未来創造塾」の塾生募集はすでに始まっている。住民と町職員20人が受講し、マーケティング研修、製品開発実践演習を行う。

議員、小園、多目、開き、商工、多目、公園、事業、あり、が遅、批判、計、化を、便局、相生、し、に、す、会議、対し、総会、建設、譲渡、市に、商工、市で、てい、施設、案理、は、確